

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年7月13日（月）～平成27年7月19日（日）【第29週】の感染症発生状況

第29週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。

手足口病の定点当たり患者報告数は12.27人と前週（10.85人）からやや増加し、例年より高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.42人と前週（6.61人）から減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は5.03人と前週（4.27人）からやや増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。



## 手足口病、全区で警報レベル超え

川崎市内の手足口病の患者報告数は、第20週以降10週連続で増加し、全ての区で警報基準値（5人）を上回り、市内全域に流行が広がっています。

手足口病の原因ウイルスは、コクサッキーウイルスやエンテロウイルスなど様々です。4月以降、川崎市健康安全研究所に搬入された8検体から、コクサッキーウイルスA16（CA16）が6件、コクサッキーウイルスA6（CA6）が2件検出されました。

### 手足口病ってどんな病気？

➤ **感染経路：**

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便中に排泄されたウイルスが口に入って感染）

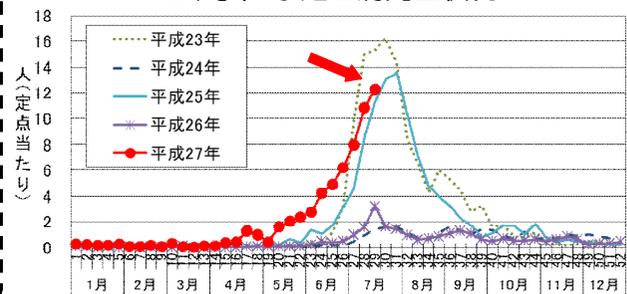
➤ **潜伏期間：**3～5日

➤ **症状：**口の中、手のひら、足や足の裏などに2～3mmの水疱性の発疹が出ます。口の痛みで水分がとれず脱水を起こすことがあります。まれに髄膜炎や脳炎などの合併症を伴うこともあるので、高熱や嘔吐、ぼんやりして意識がはっきりしないなどの症状がある場合にはすぐに医療機関を受診しましょう。

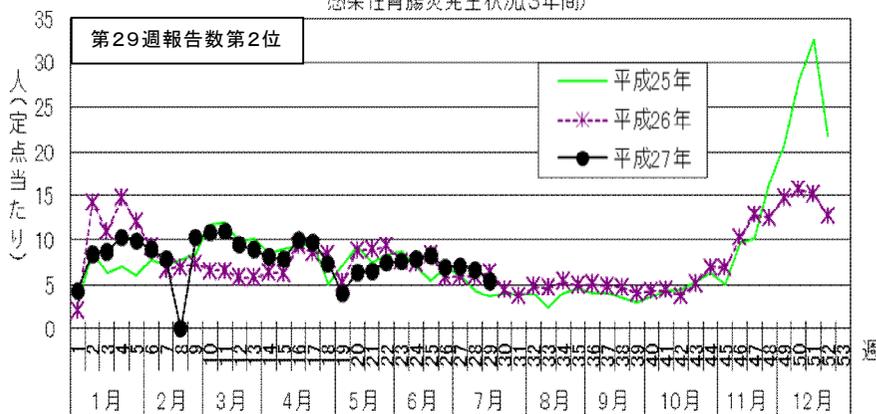


CA6 を原因とする手足口病では、典型的な症状と比べて発疹が大きく、身体の広範囲に認められるとともに、治癒後に爪がはがれるなどの報告もあります。

### 川崎市 手足口病発生状況



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)

